

**「徳島市自転車活用推進計画（素案）」に係る
パブリックコメント手続の意見取扱結果（案）**

期間	令和 2 年 3 月 23 日（月）から令和 2 年 4 月 22 日（水）までの 31 日間
意見提出者数	人数：4 人
提出意見数	件数：16 件（走る：6 件、守る 3 件、停める：4 件、活かす：3 件）
計画の修正	<p style="text-align: center;">提出いただいたご意見に対する市の考え方は別紙のとおりであり、今回、ご意見に基づく大きな修正はありません。</p> <p style="text-align: center;">なお、いただいたご意見につきましては、本計画を推進していく上での参考とさせていただきます。</p>

■ 「走る：自転車通行空間の確保」に関する意見

意見		市の考え
①	本市は、自転車分担率の高い都市であるが、他都市に比べ自転車通行空間が整備されていない。	<p>本計画では、「走る：自転車通行空間の確保」における施策の1つとして「自転車通行空間の整備」があり、「自転車交通量の多い路線」や「自転車関連死傷事故の多い路線」などを指標として自転車ネットワーク路線を選定し、自転車通行空間の整備に取り組むこととしています。（本計画20ページ参照）</p> <p>また、自転車ネットワーク路線の中でも特に優先度の高いと思われる路線については、優先整備路線に選定し、効果的かつ効率的に自転車通行空間の整備へ取り組めるよう、暫定形態も含めて整備方針を検討しています。田宮街道（主要地方道徳島鴨島線）については、本計画の自転車ネットワーク優先整備路線となっています（本計画21ページ参照）</p> <p>いただいたご意見は、今後、取組を推進していく上での参考とさせていただきます。</p> <p>本計画では、「走る：自転車通行空間の確保」における施策の1つとして「自転車通行空間が整備された路線の広報活動」があり、自転車通行空間の整備とあわせて、整備完了路線や自転車通行空間のある道路における自転車の通行方法などに関する広報活動に取り組むこととしています。（本計画22ページ参照）</p> <p>また、本計画では、「自転車乗車時の交通マナー」や「自転車の活用による様々なメリット」など、自転車施策に関する広報活動について、関係機関で連携して事業を展開できるよう、広報戦略についても今後検討することとしています。（本計画37ページ参照）</p> <p>いただいたご意見は、今後、本計画を推進していく上での参考とさせていただきます。</p>
②	観光客を呼び込み、賑わいを創出することは大変素晴らしいことだと思うので、自転車通行空間の整備を早急に進めてほしい。	
③	自転車専用道路については、いち早く整備されると嬉しい。悪天候時や通勤ラッシュの時間帯になると急いでいる人も多く、危険である。	
④	中学校や高校の周辺では自転車利用者が多いが、特に高校が密集している田宮街道では、自転車による交通事故が多く発生しており、自転車だけが通行できるような道を作ってほしい。現状では、歩道を自転車が通行しており、歩行者は身の危険を感じていると思う。	
⑤	自転車通行空間を整備し、自転車の活用によるスムーズかつ健康的な通勤などについて広報を行うだけでも、自転車利用者は増加すると思う。	
⑥	子どもにヘルメットを着用させて自転車に乗っていても、自転車通行空間が整備されていなければ、危険だと感じる。	

■ 「守る：交通ルールの周知・啓発」に関する意見

意見		市の考え
①	<p>学生時には、学校等による交通安全教室を通じて交通マナーを学ぶ機会があるが、大人になると運転免許の取得・更新時くらいしか学ぶ機会がないため、ライフステージに応じた交通安全教育については、早急に取り組んでほしい。</p>	<p>本計画では、「守る：交通ルールの周知・啓発」における施策の1つとして「段階的かつ体系的な交通安全教育の推進」があり、幅広い世代に対して、各世代の特徴に合わせた交通安全教育を推進することとしております。（本計画 23 ページ参照）</p> <p>いただいたご意見は、今後、取組を推進していく上での参考とさせていただきます。</p>
②	<p>自転車に乗った中高生の逆走がよく見受けられる。自転車交通事故に占める中高生の割合に対して、中学校・高校での自転車に関する交通安全教室の回数が少なすぎると思うので、もっと増やしてほしい。特に、中学1年生・高校1年生の自転車交通事故が多いとされているので、学期初めに交通安全教室などを行って、危機感を持って登校してもらわなければならない。交通ルールの認知度を事前にアンケート調査などで把握し、その結果を踏まえた教育内容にすると良いと思う。</p>	
③	<p>交通マナー違反者へ目が行きがちだが、自転車政策について市民への十分な周知ができていないことも問題である。周知活動の場をサイクルイベントなどに限定せず、多様な場所で多様な世代への周知活動が重要である。</p>	<p>本計画では、交通ルールの啓発活動をはじめとする自転車施策に関する広報活動について、関係機関で連携して事業を展開できるよう、広報戦略についても今後検討することとしています。（本計画 37 ページ参照）</p> <p>いただいたご意見は、今後、取組を推進していく上での参考とさせていただきます。</p>

■ 「停める：駐輪環境の確保」に関する意見

意見		市の考え
①	主要鉄道駅等の周辺にある駐輪場について、収容台数の増加をはじめとした機能性・利便性の向上に取り組んでほしい。	<p>本計画では、「停める：駐輪環境の確保」における施策の1つとして「鉄道駅やバス停の周辺における駐輪場の整備」があり、鉄道駅やバス停の周辺に駐輪場を整備（既に駐輪場がある箇所については、駐輪場の機能強化）することとしております。（本計画28ページ参照）</p> <p>いただいたご意見は、今後、取組を推進していく上での参考とさせていただきます。</p>
②	徳島駅や佐古駅の駐輪場だけでは少ないので、駅の駐輪場を増やしたほうがいいと思う。歩道の広い道路ではそれほど気にならなかったが、自転車通行空間のない狭い道路では、歩道に自転車が入ってきて、とても危険だった。	
③	徳島駅前地下自転車駐車場は、ホテルクレメント側にも出入口がある方が便利である。ポッポ街東口歩道には、自転車放置禁止区域にもかかわらず、自転車が常時放置されており、その上自転車が歩道を通行しているのが、とても危険である。	
④	徳島駅前や歓楽街では、放置自転車が多く、歩行者の通行阻害や、事故の原因になりかねないと思うので、自転車の利用促進をする前に駐輪環境を整備してほしい。	<p>本計画では、「停める：駐輪環境の確保」における施策の1つとして「短時間駐輪需要を満たす駐輪場の整備」があり、道路などの公共空間や民地空きスペースなどを活用した小規模駐輪場を整備することとしております。（本計画28ページ参照）</p> <p>いただいたご意見は、今後、取組を推進していく上での参考とさせていただきます。</p>

■ 「活かす：自転車を活用したまちづくり」に関する意見

意見		市の考え
①	<p>災害時には、自動車ではなく、徒歩・自転車による避難を呼びかければ良いと思う。東日本大震災の時には、自動車による避難者が渋滞により身動きが取れなくなり、津波に巻き込まれてしまったことが報告されている。</p>	<p>本計画では、「活かす：自転車を活用した街づくり」における施策の1つとして「自転車を活用した災害時の避難・復旧活動」があり、「災害時の自転車活用」について調査・研究を行い、自転車を活用した避難などについて検討することとしております。（本計画 36 ページ参照）</p> <p>いただいたご意見は、今後、取組を推進していく上での参考とさせていただきます。</p>
②	<p>観光客にとっては、公共交通の待ち時間や交通費の削減ができ、選択の幅が広がるシェアサイクルは良い取り組みだと感じた。しかし、通勤・通学といった、市民の日常生活における公共交通の補完としては、利用金額によって利用者数は大きく変動することが考えられるため、利便性と経済性のバランスが重要だと思う。</p>	<p>本計画における「活かす：シェアサイクルの導入」については、持続可能なシステムとするため、来訪者だけではなく、市民の日常生活にも利用されるような料金・利用体系にする必要があると考えています。</p> <p>いただいたご意見は、今後、取組を推進していく上での参考とさせていただきます。</p>
③	<p>サイクルイベントの開催は、観光客の増加や趣味づくりのきっかけになり良いと思った。しかし、イベント時には道路等の通行規制が伴うことも想定されるので、日時や場所については、十分な検討を行ってほしい。</p>	<p>本計画における「活かす：サイクルイベントの開催・支援」については、通行規制をはじめとする調整が必要となりますので、関係機関と連携して取組んでいきたいと考えています。</p> <p>いただいたご意見は、今後、取組を推進していく上での参考とさせていただきます。</p>